

# 児童・女性

## 小川町二丁目西部地区に児童館の早期建設を

**立花隆一議員(公明)** 花小金井南児童館での課題は、次の児童館建設に反映すべき点は、市民の声をどう生かすか、建設に関する具体的な考えは、二丁をどうとらえるか、スケジュールと建設費は、サービス向上等のための工夫は、

**市長** 利用スペースに制限がある。小・中学生と乳幼児が別々に遊べる工夫が必要である。反映させていく。地域センター併設の児童館を考えている。安心して遊ぶことができる施設としての期待が大きいものと認識している。

現在作成中である当該地区の区画整理事業計画案の中で、位置等を示していきたい。地域に根差した児童館づくりを進めていく。

## 民間児童クラブの事業の積極的推進を

**原邦彦議員(公明)** 民間の児童クラブの運営について、どのように考えているか。

民間事業者からの参加の問い合わせは来ているか。企業、NPO等も含め、補助事業としての事業化については可能であると考えているか。

市民二丁の多様化、民間活力の活用からも積極的に推進すべきと考えるがどうか。

**市長** 公営とは違った多様なサービスが展開できると考える。幾つかの民間事業者からの問い合わせがあった。

一定の基準を満たしていれば可能であると考えている。民間活力の活用についても検討が必要な時代と考えている。

## 保育園待機児童ゼロゼロ作戦のその後

**華表 曉議員(共産)** 10月1日現在の、旧定義による小平市の待機児童数は、今後の保育サービスのあり方検討懇談会の内容は、

来年度に向けての待機児童解消策はどうなっているか。

**市長** 実質的待機児童138人に市の認定保育室等の利用者65人を加えた旧定義では203人となる。現状と課題の全体的な把握や市内施設見学等を行っている。現在の待機児童数や入園申し込み状況等を慎重に見きわめ現在の各施設で対応可能な工夫を中心に、必要な検討をしたい。



## 母子家庭の支援を総合的に進めたい

**立花隆一議員(公明)** 市内の母子家庭の実態と状況は、子育てのための短期支援等

の現状と、今後の支援対策は。母子寡婦福祉資金の貸付制度の利用状況は。制度を使いやすくするための努力・工夫は。厚生労働省が平成16年度予算の概要要望に盛り込んだ母子家庭の自立等への認識は。母子家庭の就業機会を支援することを検討できないか。

# 産業振興

## 農あるまちづくり

**佐野郁夫議員(政和)** 雑木林等の維持の現状と課題は、農業生産振興施策の状況は、農業の担い手の確保、育成のための研修等の支援制度は、相統納税猶予制度の堅持を図るための市の取り組みは、地域住民に対する都市農業への理解を図る取り組み支援は、

災害時の農地の使用協定等実施して保存に努めている。

**市長** 固定資産税の減免等を都市農業の発展に努めている。都の活力ある農業経営育成事業の積極的導入等を行っている。東京都農林水産振興財団等と連携し支援している。可能なものは要望したい。産業まつりの支援等で市民と農業の触れ合いを図っている。農協を通じて、援農ボランティアの育成を図ってきた。農協と協定を結んでいる。

**市民・若者の雇用拡大のために**

**佐藤 充議員(共産)** こだいら就職情報室の事業内容は、市内企業の雇用確保の可能性と展望をどうつづかんでいるか。

**市長** 児童育成手当が支給されている母子家庭は、千4百46世帯で年々増加している。シフトステイ事業等を実施しており、検討していきたい。10月現在で11件である。市報への掲載等PRに努めていく。重要なことと認識している。今後の課題である。

特に若者の安定雇用確保のために、実態調査や相談等の専門部署が必要だと思いがどうか。

**市長** 専門相談員の職業相談や求人票の展示等を行っている。一部企業では新規採用の予定があるとのことだが、景気動向等もあり流動的と聞いている。現在の組織体制の適切な部署の中で取り組んでいきたい。行政需要に即した適正配置を検討し、毎年度計画している。

# 教育文化

## 子どもへの暴力防止(CAP)の取り組みを

**岩本博子議員(緑ネ)** 市内の小・中学校の授業等におけるCAPの取り組みの現状は、子どもには問題を解決する力があると信じ、その力を引き出すというエンパワメントの考え方についての見解は、

学校現場でCAPを授業の一環として取り組むことを希望するがどうか。

活動等に取り入れた実績がある。中学校での導入はない。自分の置かれた状況の中で問題を解決し、乗り越えていく力を引き出し、育てていくこととらえている。導入していく予定はない。CAPとは

子どもたちが、いじめ、誘拐などあらゆる種類の暴力から自分を守る方法を学ぶ参加型プログラムのこと。

**永田政弘議員(政和)** 若い世代を対象にした起業家教育の重要性が、各方面から指摘されている。チャレンジ精神や自律的な能力など、まさに生きる力をはぐくむための教育である。起業家教育をどう考えるか。学校教育に積極的に導入すべきではないか。

**教育長** 経済活動を素材に、チャレンジ精神や創造性を育成する教育活動とらえるならば、意義は大変大きいと考える。これまでも小・中学校で起業家教育にかかわる活動はしてきたが、今後は、生きる力を高める一つの学習課題とらえ、先進地域の情報を各学校に提供するなど支援していきたい。

**中学校の部活動への支援強化を**

**木村まゆみ議員(共産)** 顧問がいなくなったため廃部となったケースは何件か。認識は、教員の異動に当たり、部活動も考慮すべきと思いが実態は、年度途中に顧問をやめざるを得ない場合に、教育委員会が別の顧問を探すか、課外クラブ活動費補助金が1時間当たり200円であることを改

め、顧問に正当な報酬で評価をあらわすべきと考えるがどうか。

**教育長** 平成15年度は8件で顧問の引き継ぎによる部活動の継続を考えているが、やむを得ず廃部となる場合もある。部活動も考慮すべき要素の一つとなっている。

年度途中の欠員の後任顧問は、各学校の対応となる。教員の労働への対価ではなく円滑な部活動を目的とする補助金で、妥当な額と考えている。

**中学生の自転車通学は条件つき許可に**

**住田景子議員(緑ネ)** 市内中学校への通学で一番距離のある例は何校で、どの中学、地域か。部活等で一番遅く下校する生徒は、何時帰宅となるか。生徒が通学途上で安心して歩けなかった事例はあるか。条件によっては生徒や保護者の希望で、自転車通学を許可してもよいと考えるがどうか。

**中学校給食の改善**

**木村まゆみ議員(共産)** 学校給食共同調理場運営委員会と献立作成委員会は、十分に機能しているか。

子どもの意見の吸い上げを積極的に行うべきだがどうか。

**教育長** 平成15年度は8件で、食器を瀬戸物などの天然素材にしてほしいが改善計画は、地産地消が望ましいが現状と今後の方向はどうか。

**教育長** それぞれ十分に役目を果たしていると考えている。給食センター所長、栄養士等が毎月2校を訪問し、直接生徒の意見を聞いている。現在は考えていない。

平成14年度で野菜購入額全体の2・6%の納入があり、可能であれば積極的にふやしたい。

**学校公開週間5日間は長いのではないか**

**高橋三男議員(フォ)** 学校公開を始めてからのよい点は何か。反省点、改善点はあるか。

窮屈な日程や過重な負担にならないように工夫している。集中して授業に取り組む意欲を持つようになった。参観の際には私語や撮影等は遠慮してもらおうようお願いしている。各学校が今後も適切に指導を進めていくと考えている。

行政と地域や児童との協働により設置や管理が行われることから、継続的な活用や維持管理が課題と受けとめている。今後の研究課題としたい。自然体験、環境教育の場等としての効果が期待される。

声が届いていると思うが、その内容はどのようなものか。

**市長** 水路の占有料は、利用の適正化と公平な負担を原則に、都管理の時代にはなかった減免制度を取り入れ、市民の理解をお願いしている。市民の意見としては、水路の敷地は先祖が負担したのだから占有料を払うのは納得できない、不特定多数の人が通行する橋や幅2.5メートルの橋は免除されるが、すべての橋に減額等の配慮をすべきである等がある。

**小平市ピオトープ**

**ネットワーク構想の提言**

**鴨打喜久男議員(政和)** 上水本町のピオトープ公園はどのような方法でつくるのか。

**武蔵野市ピオトープ整備事業**の課題等をどう評価するか。調査をしたことはない。関係団体に働きかけをする

関係団体に働きかけられないか。



ピオトープ公園予定地(上水本町二丁目)

# 公園・用水

今後の研究課題としたい。自然体験、環境教育の場等としての効果が期待される。

**栄光橋をだれもが使える橋にかけかえを**

**橋本久雄議員(緑ネ)** 栄光橋についてどのような評価をしているか。問題点は何か。

栄光橋が土木遺産、水路の保全、景観上及ぼす影響について調査をしているか。

ほかの橋にかけかえるよう関係団体に働きかけられないか。